

## 「わすれん!」ってなに?

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(略称:わすれん!)は、2011年3月11日に起きた東日本大震災という大きな出来事に向き合い、ともに考えるために、同年5月3日、せんだいメディアテークに開設されたプラットフォームです。

市民、専門家、アーティストなどさまざまな立場の人びとが参加者となり、ともに震災にまつわる事柄を記録し、発信しています。参加者は、個々の視点からとらえた震災を、映像、写真、音声、文章などで記録してきました。それらは整理・保存され、さまざまな形で活用されています。

### よくある質問

## Q1.

### 「わすれん!」はどこにありますか?

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」という名前がついていますが、建物があるわけではなく、せんだいメディアテークによるプロジェクトの名前です。「わすれん!」に寄せられた記録資料の一部は、メディアテークの2階にある常設展示「わすれん!資料室」でご覧いただけます。担当スタッフは7階のオフィスにいますので、御用の方は7階をお訪ねください。

## Q2.

### どんな人が参加していますか?

市民、専門家、アーティストなどさまざまな立場の人びとが参加しています。参加者は、映像、写真、音声、文章などを用いて、それぞれのやり方で震災にまつわる記録をしています。また記録する以外にも、上映会を行う、対話の場をつくる、他の言語に翻訳するなど、「記録を利活用する」という参加のかたちもあります。「記録を残したい」「発信をしたい」「記録活動をする人のお手伝いをしたい」など、何らかの動機さえあれば、どなたでも参加の申込みができます。もちろん仙台市民でなくてもOKです。

## Q3.

### どんな記録がありますか?

「震災にまつわる記録」といっても、直接的なものから間接的なものまで、内容はさまざまです。例えば映像だけでも、インタビュー映像や、車にカメラを乗せて走行ルートを撮影したもの、ふるさとの記録、復旧の記録、対話の記録などがあります。また写真では、震災時の非日常の記録、継続的にまちの変化を撮影する定点観測写真、文化や風景の記録などがあります。音声にはフィールドレコーディングやまちの声のインタビュー、文章には震災体験の手記などがあります。記録の一部はウェブサイトで公開したり、DVDとして発行したり、「わすれん!資料室」で展示したりしています。



## Q4.

### 資料はどこで見られますか?

#### わすれん!資料室

メディアテーク2階の常設展示「わすれん!資料室」でご覧いただけます。DVDや展示パネルなどの一部資料は、同じフロアにある映像音響ライブラリーで貸出もしています。

#### 星空と路

毎年3月に開催する展示と上映会「星空と路」などの機会にも紹介しています。

#### ウェブサイト

ウェブ上でも資料の一部を公開しています。  
<https://recorder311.smt.jp/>

わすれん!  
ウェブサイト



わすれん!資料室



星空と路

## Q5.

### 記録資料を借りたり、学校や研究で使ったりすることはできますか?

公開している下記の資料は、申込書を提出\*すれば、さまざまな目的で利用できます。

#### わすれん! DVD

自宅で見ただけでなく、授業で使う、上映会や展示を行う、映像を見ながら語り合う場を作るなど、さまざまな形で利用することができます。仙台市図書館の利用者カードをお持ちの方は、メディアテーク2階の映像音響ライブラリーで借りることができます。カードをお持ちでない方も、申込み\*をすることで貸出が可能です。



#### 展示パネル

定点観測写真などの展示パネル(B2サイズ)も貸出しています。実物の一部は「わすれん!資料室」内にある「アーカイブィークル」で展示しています。(貸出可能なパネルの詳細は、資料室にある目録や、ウェブサイトでもご確認いただけます。)



#### ウェブサイトで公開している記録 (デジタルデータ)

学校教育、調査研究や報道などのほか、刊行物や作品の制作などのために使うことができます。(一部貸出できないものもありますので、利用したい場合は必ず申込書を提出して手続きをお願いします。)



\*「せんだいメディアテーク公開資料の二次利用」手続きについて  
<https://www.smt.jp/info/help/contentuseright.html>



## Q6.

参加者になると  
どんなことができますか？

震災にまつわる記録や発信などの活動をする  
ことができ、それにあたってメディアテーク  
7階にある「スタジオ」というスペースを利用  
できます。スタジオにはパソコンやビデオカメラ  
の用意があり、映像や写真の編集、テキスト  
執筆、情報収集などに利用できます。また、  
撮影時に必要な肖像権の許諾のことや、記録  
をどのように編集・公開するかなど、活動に  
まつわるさまざまな事柄についてスタッフが  
相談にのることもあります。



## Q7.

参加者になるには  
どうしたらいいですか？

参加者になるには、まず簡単な申込書を書  
いていただきます。まだ何がしたいのかわから  
ないという方も、お気軽に「わすれん！」担当  
までお問い合わせください。(来館でも、電話  
やメールでも構いません。)

## Q8.

メディアテークの中で、  
「わすれん！」のほかに  
東日本大震災の資料が  
見られる場所がありますか？

3階にある仙台市民図書館でも震災関連資  
料を収集・保存しており、「3.11 震災文庫」と  
して約1万冊の書物が収蔵されています。

## Q9.

ところでメディアテークって  
どんな場所ですか？

正式名称は「せんだいメディアテーク」で、宮  
城県仙台市にある生涯学習施設です。建  
物のなかには図書館をはじめ、ギャラリーやシ  
アター、会議室、ミュージアムショップやカフェ  
などがあります。7階にある「スタジオ」という  
スペースでは、市民の方々とともに、地域文化  
やコミュニティなどにまつわる表現活動や情  
報発信などが日々行われています。メディア  
テークでは、さまざまな活動を通じてできた記  
録などをアーカイブし、公開しています。



＼2階の「わすれん!資料室」には何がある？ 一部紹介 /

### アーカイブィークル

「わすれん!」の資料を積み込んだ屋台のかたちをしたもの。ウェブサイ  
トの記録をレコードジャケット風に印刷した「わすれん!レコード」や、  
まちの変化を記録した定点観測写真パネルなどの資料が積み込ま  
れています。ときには館外へ出張することも。



### わすれん! 録音小屋

ふたりひと組で震災にまつわる話をして、それを音声で残すプロジェ  
クト。録音されたお話は、後世に伝えていくことを目的に保存され、  
ウェブサイトなどで公開されます。2階にある映像音響ライブラリー  
の受付カウンターにて申込みの上、どうぞお気軽にご利用ください。



### 3月12日はじまりのごはん - いつ、どこで、なに食べた? -

炊き出し、買い物、食卓の風景など、震災時の「食」にまつわる写真  
をきっかけに、当時の体験や思いをふせんに書いていく参加型の  
展示。「3.11オモイデアーカイブ」との協働企画です。ふせんとペン  
を使って、あなたが思い出したこと、感じたことを教えてください。



＼「わすれん!」についてもっと知るには? / これらの本も、ぜひ参考してみてください。

- 『コミュニティ・アーカイブをつくろう! せんだいメディアテーク  
「3がつ11にちをわすれないためにセンター」奮闘記』(2018年、晶文社、1850円+税)

一般書店で  
発売中

- 『3がつ11にちをわすれないためにセンター活動報告』
  - 『3がつ11にちをわすれないためにセンター資料カタログ』
- ※いずれも、わすれん!のウェブサイトでもPDF版を公開しています。

ほか気になることがありましたら、「わすれん!」の担当までお気軽にお問い合わせください。

〈お問い合わせ〉

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 3がつ11にちをわすれないためにセンター 担当スタッフまで  
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 tel:022-713-4483 fax:022-713-4482  
mail:office@smt.city.sendai.jp web:https://recorder311.smt.jp/

・せんだいメディアテークの開館時間:9時から22時まで

・「わすれん!資料室」がある2階フロア、および仙台市民図書館:9時30分から20時まで(土曜日・日曜日・休日は18時まで)  
※月曜日(休日を除く)、休日の翌日、保守点検日(毎月第4木曜日)、特別整理期間、年末年始は休み



3がつ11にちを  
わすれない  
ためにセンター



東日本大震災の記録・市民協働アーカイブ

3がつ11にちを  
わすれない 略称  
わすれん!  
ためにセンター  
ってなに?

Q&A集